

令和4年度

久喜市下水道事業会計決算審査意見書

久喜市監査委員



久監査第 89 号

令和 5 年 8 月 3 日

久喜市長 梅 田 修 一 様

久喜市監査委員 菊 地 雅 之

久喜市監査委員 岡 崎 克 巳

決算審査意見の提出について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により審査に付された令和 4 年度久喜市下水道事業会計決算を審査したので、次のとおりその意見を提出する。

目 次

第1 審査の概要

1 準 拠 基 準	1
2 審 査 の 対 象	1
3 審 査 の 着 眼 点	1
4 審査の主な実施内容	1
5 審 査 の 期 間	1
6 審 査 の 結 果	1

第2 経 営 分 析

1 経営成績の概況	2
(1) 施設の利用状況について	3
(2) 人件費と労働生産性について	4
(3) 一般会計からの繰入金について	5
(4) 支払利息について	5
2 財政状態について	5
3 建設改良事業について	7
4 む す び	8

別 表

1 事業規模の推移及び概要	9
2 比較損益計算書	10
3 比較貸借対照表	12
4 報告セグメントごとの営業収益等（年度比較）	14
5 比較キャッシュ・フロー計算書	16

凡 例

- 1 数値の単位未満の端数は、原則として四捨五入した。
- 2 合計額の差異は、端数整理によるものである。
- 3 比率（％）は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。したがって、構成比率（％）は、合計が100.0とならない場合がある。
- 4 符号等の用法は、次のとおりである。
 - 「0.0」…………… 該当数値はあるが単位未満のもの
 - 「－」…………… 該当数値なし
 - 「△」…………… マイナス
- 5 農業集落排水事業については、令和3年4月1日から地方公営企業法の一部（財務規定等）が適用されている。そのため、前年度との対比ができない項目がある。

県内類似団体平均値……………「令和3年度地方公営企業決算状況調査」から、各事業の処理区域内人口等を基に県内の以下の5団体を選定し、算出した平均値

- ・公共下水道事業……………飯能市、加須市、狭山市、鴻巣市、日高市
- ・農業集落排水事業……………本庄市、深谷市、蓮田市、日高市、白岡市

令和4年度久喜市下水道事業会計決算審査意見

第1 審査の概要

1 準拠基準

久喜市監査基準

2 審査の対象

令和4年度久喜市下水道事業会計決算

3 審査の着眼点

決算書類等が関係法令に基づき調製され、かつ計数は、会計諸帳簿と符合し正確であるか、また、予算執行ならびに事業の経営管理は、公共の福祉を増進させ適正かつ効率的に運営されているか等に主眼をおいて審査した。

4 審査の主な実施内容

審査に付された決算書類等について、証憑突合、計算突合、質問、閲覧等の手法を用いて審査を実施した。

5 審査の期間

令和5年6月12日から令和5年8月3日まで

6 審査の結果

審査に付された決算書類は、地方公営企業法等関係法令の定めるところに準拠して作成されており、関係諸帳簿と証拠書類との照合の結果、計数は正確であり、財政状態が適正に表示されているものと認められた。

第2 経営分析

1 経営成績の概況

下水道事業の令和2年度から令和4年度の経営成績は、比較損益計算書（別表2）のとおりである。

令和4年度の損益収支をみると営業収益は1,826,370千円、営業費用は3,834,678千円となり、差し引き2,008,307千円の営業損失を生じている。

また、収益的収支の収入は4,242,348千円、収益的収支の支出は4,123,965千円となり、118,384千円の純利益となっている。

各事業における経営成績は次のとおりである。

① 公共下水道事業

営業収益は1,683,180千円、営業費用は3,316,691千円となり、差し引き1,633,511千円の営業損失を生じている。また、有収水量1 m³当たりの収益性をみると次のとおりである。

(単位：円)

区 分 \ 年 度	4	3	2	県内類似団体 平均(3年度)
使 用 料 単 価	108.12	108.39	108.30	120.78
汚 水 処 理 原 価	150.00	150.00	150.00	132.23
差 引	△41.88	△41.61	△41.70	△11.45

この表から、令和4年度は使用料単価が汚水処理原価を41.88円下回っている。これは1 m³の処理に料金収入のみで賄えていないことを示している。

② 農業集落排水事業

営業収益は143,191千円、営業費用は517,987千円となり、差し引き374,796千円の営業損失を生じている。また、有収水量1 m³当たりの収益性をみると次のとおりである。

(単位：円)

区 分 \ 年 度	4	3	2	県内類似団体 平均(3年度)
使 用 料 単 価	134.30	135.26	—	141.19
汚 水 処 理 原 価	194.72	217.36	—	173.26
差 引	△60.42	△82.10	—	△32.07

この表から、令和4年度は使用料単価が汚水処理原価を60.42円下回っている。これは1 m³の処理に料金収入のみで賄えていないことを示している。

次に下水道事業の経済性を評定する経営比率を算出すると、次のとおりである。

区 分		年 度			算 式
		4	3	2	
経 営 資 本 営 業 利 益 率 (%)	公共下水道事業	△3.63	△3.51	△3.51	$\frac{\text{営業利益}}{\text{経営資本}} \times 100$
	農業集落排水事業	△4.27	△4.41	—	
	計	△3.74	△3.65	△3.51	
経 営 資 本 回 転 率 (回)	公共下水道事業	0.04	0.04	0.04	$\frac{\text{営業収益}}{\text{経営資本}}$
	農業集落排水事業	0.02	0.02	—	
	計	0.03	0.03	0.04	
営 業 収 益 営 業 利 益 率 (%)	公共下水道事業	△97.05	△93.76	△93.87	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}} \times 100$
	農業集落排水事業	△261.75	△273.68	—	
	計	△109.96	△107.82	△93.87	

この表から、下水道事業の経済性を総合的に表示する令和4年度の経営資本営業利益率は、令和3年度に比べ0.09ポイント減少している。

(1) 施設の利用状況について

令和4年度の下水道事業の概要は別表1「事業規模の推移及び概要」のとおりである。

① 公共下水道事業

令和4年度の水洗化人口は98,571人で、前年度に比べて243人の減少、水洗化戸数は45,117戸で、前年度に比べて386戸の増加となっている。また、年間の汚水処理水量は14,439千m³、有収水量は11,694千m³で、前年度に比べて汚水処理水量は3.5%の減少、有収水量は2.5%の減少となっている。

② 農業集落排水事業

令和4年度の水洗化人口は9,001人で、前年度に比べて101人の減少、水洗化戸数は3,507戸で、前年度に比べて20戸の増加となっている。また、年間の汚水処理水量は1,066千m³で、前年度に比べて0.3%の減少となっている。

(2) 人件費と労働生産性について

下水道事業の全職員の平均年齢や平均勤続年数等は、次のとおりである。

区 分		年 度	4	3	2 (※)
全 職 員 (平 均)	基 本 給 (円)		332,158	329,333	354,566
	手 当 (円)		169,512	148,150	170,783
	年 齢 (歳)		43	45	47
	勤 続 年 数 (年)		20	19	24

(※令和2年度に農業集落排水事業の数値は含まれていない。)

損益勘定所属職員 (15人) の人件費は、88,343千円となっており、その総費用に占める割合は、2.1%となっている。また、その使用料収入に対する割合は、6.3%となっている。

下水道事業の労働生産性等を示す指標は、下表のとおりである。

区 分		年 度	4	3	2
職員1人当たり 有 収 水 量 (m ³)	公共下水道事業		899,530	856,723	858,339
	農業集落排水事業		533,104	534,753	—
	計		850,673	816,477	858,339
職員1人当たり 営 業 収 益 (千円)	公共下水道事業		129,475	121,959	122,551
	農業集落排水事業		71,596	72,333	—
	計		121,758	115,755	122,551
職員1人当たり 水 洗 化 人 口 (人)	公共下水道事業		7,582	7,058	7,022
	農業集落排水事業		4,501	4,551	—
	計		7,171	6,745	7,022

これらの表から、下水道事業における労働生産性を最も端的に示す職員1人当たりの有収水量が令和3年度と比較して34,196m³増加するなど、大幅な上昇が見られたところである。

また、損益勘定所属職員の平均給与、労働生産性及び労働分配率の関係を分析すると、次の表のとおりであり、令和3年度と比較すると、平均給与と労働生産性は増加しているが、労働分配率は減少している。

区 分 \ 年 度	4	3	2 (※)	算 式
平 均 給 与 (千円)	5,890	5,667	6,055	$\frac{\text{人件費}}{\text{損益勘定所属職員数}}$
労 働 生 産 性 (千円)	121,758	115,755	122,551	$\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$
労 働 分 配 率 (%)	4.84	4.90	4.94	$\frac{\text{人件費}}{\text{営業収益}} \times 100$

(※令和2年度に農業集落排水事業の数値は含まれていない。)

(3) 一般会計からの繰入金について

令和4年度の他会計負担金は967,975千円（うち公共下水道事業755,200千円、農業集落排水事業212,775千円）で、これは下水道事業収益全体の22.8%となっている。

また、他会計補助金191,050千円（うち公共下水道事業126,720千円、農業集落排水事業64,330千円）が計上されていることは、地方公営企業法における経費負担の原則の観点から改善を要するものである。

(4) 支払利息について

令和4年度の支払利息は249,529千円（うち公共下水道事業197,660千円、農業集落排水事業51,870千円）で、総費用に占める割合は6.1%となっている。また、使用料収入に対する支払利息の割合が17.7%となっている。

2 財政状態について

本市の令和4年度の財政状態は「別表3 比較貸借対照表」のとおりである。

令和4年度末の総資産は53,886,513千円、負債は46,664,755千円、資本は7,221,758千円である。

企業債については、新規借入額は1,853,800千円（うち公共下水道事業1,604,600千円、農業集落排水事業249,200千円）、償還額は2,264,377千円（うち公共下水道事業1,830,939千円、農業集落排水事業433,438千円）であり、年度末残高は21,394,073千円（うち公共下水道事業17,848,583千円、農業集落排水事業3,545,490千円）となっている。

また、資本的収支の状況は、次のとおりである。

(単位：円)

区 分		年 度		
		4	3	2
資本的 収入	公共下水道事業	2,054,979,660	1,932,520,106	1,672,373,500
	農業集落排水事業	361,903,679	275,144,000	—
	計	2,416,883,339	2,207,664,106	1,672,373,500
資本的 支出	公共下水道事業	2,995,453,387	2,811,334,992	2,587,274,706
	農業集落排水事業	514,413,741	427,401,762	—
	計	3,509,867,128	3,238,736,754	2,587,274,706
収 支 差 引 額		△1,092,983,789	△1,031,072,648	△914,901,206

この表から、令和4年度における資本的収支の不足額は、1,092,984千円となっている。この不足額は、減債積立金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金及び当年度分損益勘定留保資金で補填されている。

次に、資金の変動状況は「別表5 比較キャッシュ・フロー計算書」のとおりである。

業務活動により資金が1,020,280千円増加している一方、投資活動により資金が612,150千円、財務活動により資金が410,577千円それぞれ減少したことにより、令和4年度の資金減少額は2,447千円となっている。

下水道事業の財務の短期流動性を示す流動比率、財務の長期健全性を示す自己資本構成比率及び固定資産対長期資本比率を算出すると、次のとおりである。

(単位：%)

区 分		年 度		
		4	3	2 (※)
流 動 比 率		32.62	31.80	29.45
自 己 資 本 構 成 比 率		58.67	58.70	58.88
固 定 資 産 対 長 期 資 本 比 率		104.12	104.06	103.83

(※令和2年度に農業集落排水事業の数値は含まれていない。)

この表から、流動比率、固定資産対長期資本比率は、令和3年度と比べ、それぞれ0.82ポイント、0.06ポイント増加し、自己資本構成比率は0.03ポイント減少した。

3 建設改良事業について

建設改良事業には、1,242,850千円（うち公共下水道事業1,162,374千円、農業集落排水事業80,476千円）が投じられた。

公共下水道事業においては、下水道管布設工事、下水道管布設工事関連業務委託、青葉中継ポンプ場及び北中継ポンプ場破碎機修繕工事等を実施した。令和4年度末現在の公共下水道整備面積は1,925.4haで、前年度の1,913.7haより11.7ha増加した。

農業集落排水事業においては、排水管布設替工事及び太田袋地区処理施設機能強化工事等を実施した。

4 む す び

以上が令和4年度久喜市下水道事業会計決算の概要である。

はじめに、下水道事業全体の損益収支をみると、営業収支は2,008,307千円の営業損失を生じているものの、他会計補助金等による営業外収支を含めた経常収支では118,438千円の経常利益で、純利益は118,384千円を生じている。依然として、一般会計からの補助金等に依存しており、下水道事業単独では厳しい財政状況が続いている。

一方、財務比率等をみると、自己資本構成比率は58.67%で、前年度より0.03ポイント減少したが、流動比率は32.62%で、前年度より0.82ポイント増加した。

次に、各事業についてみると、公共下水道事業については、収益性を示す有収水量1 m³当たりの使用料単価は、汚水処理原価を41.88円下回っている。整備面積は前年度より0.6%増加したが、水洗化人口は0.2%減少した。これにより、事業の経営指標である水洗化率は93.3%で、前年度より0.2ポイント減少している。

他方、農業集落排水事業については、収益性を示す有収水量1 m³当たりの使用料単価は、汚水処理原価を60.42円下回っている。事業の経営指標である水洗化人口は前年度より1.1%減少した一方、水洗化率は処理区域内人口の減少により、前年度より0.3ポイント増加し89.9%となっている。

終わりに、下水道は公衆衛生の向上や浸水被害の軽減、公共用水域や農業用水の水質保全に資するなど、市民生活や経済活動に欠かすことのできない重要な都市基盤施設である。災害対応も含めた計画的な施設更新を行い、将来にわたって安定的にサービスを提供できるよう、独立採算を目指した経営基盤の強化と効率的で効果的な事業運営に一層取り組んでいただきたい。久喜市下水道事業中期経営計画（経営戦略）にある「安定した経営の持続と公平なサービスの実現」という本市の下水道事業の将来像へ向かって、様々な施策が展開されることを要望する。

別表 1

事業規模の推移及び概要

区 分		令和4年度	令和3年度	令和2年度	前年度比較	
					増・減	増減率
総 人 口 (人)		150,740	151,203	152,120	△ 463	△ 0.3 %
公 共 下 水 道 事 業	処理区域内人口 (人)	105,602	105,683	105,458	△ 81	△ 0.1 %
	水洗化人口 (人)	98,571	98,814	98,313	△ 243	△ 0.2 %
	水洗化戸数 (戸)	45,117	44,731	44,040	386	0.9 %
	水洗化率 (%)	93.3	93.5	93.2	△ 0.2	△ 0.2 %
	年間汚水処理水量 (m ³)	14,439,479	14,963,793	14,941,728	△ 524,314	△ 3.5 %
	1日平均処理水量 (m ³)	39,560	40,997	40,936	△ 1,437	△ 3.5 %
	年間有収水量 (m ³)	11,693,884	11,994,121	12,016,749	△ 300,237	△ 2.5 %
	1日平均有収水量 (m ³)	32,038	32,861	32,923	△ 823	△ 2.5 %
	有 収 率 (%)	81.0	80.2	80.4	0.8	1.0 %
農 業 集 落 排 水 事 業	処理区域内人口 (人)	10,011	10,164	11,147	△ 153	△ 1.5 %
	水洗化人口 (人)	9,001	9,102	9,934	△ 101	△ 1.1 %
	水洗化戸数 (戸)	3,507	3,487	3,709	20	0.6 %
	水洗化率(人口) (%)	89.9	89.6	89.1	0.3	0.3 %
	年間汚水処理水量 (m ³)	1,066,207	1,069,506	1,197,702	△ 3,299	△ 0.3 %
	1日平均処理水量 (m ³)	2,921	2,930	3,281	△ 9	△ 0.3 %
職 員 数 (人)	19	20	※ 18	△ 1	△ 5.0 %	

※令和2年度に農業集落排水事業の数値は含まれていない。

別表2

比較損益計算書

(単位：円・%)

区 分 科 目	令和4年度				令和3年度				令和2年度	
	金 額	構成比	前年度差引額	増減率	金 額	構成比	前年度差引額	増減率	金 額	構成比
下水道事業収益(ア)	4,242,348,403	100.0	△ 47,576,575	△ 1.1	4,289,924,978	100.0	547,542,549	14.6	3,742,382,429	100.0
営業収益	1,826,370,290	43.1	△ 25,713,660	△ 1.4	1,852,083,950	43.2	136,377,380	7.9	1,715,706,570	45.8
使用料	1,407,526,090	33.2	△ 37,144,860	△ 2.6	1,444,670,950	33.7	143,252,980	11.0	1,301,417,970	34.8
雨水処理負担金	417,598,000	9.8	10,974,000	2.7	406,624,000	9.5	△ 6,791,000	△ 1.6	413,415,000	11.0
その他営業収益	1,246,200	0.0	457,200	57.9	789,000	0.0	△ 84,600	△ 9.7	873,600	0.0
営業外収益	2,415,796,196	56.9	△ 21,324,659	△ 0.9	2,437,120,855	56.8	410,444,996	20.3	2,026,675,859	54.2
受取利息及び配当金	0	0	△ 1	皆減	1	0.0	0	0	1	0.0
他会計負担金	967,975,000	22.8	22,282,000	2.4	945,693,000	22.0	129,064,000	15.8	816,629,000	21.8
他会計補助金	191,050,000	4.5	△ 46,201,000	△ 19.5	237,251,000	5.5	96,506,000	68.6	140,745,000	3.8
長期前受金戻入	1,254,554,092	29.6	2,024,551	0.2	1,252,529,541	29.2	184,877,561	17.3	1,067,651,980	28.5
雑収益	2,217,104	0.1	569,791	34.6	1,647,313	0.0	△ 2,565	△ 0.2	1,649,878	0.0
特別利益	181,917	0.0	△ 538,256	△ 74.7	720,173	0.0	720,173	皆増	0	0
過年度損益修正益	52,410	0.0	52,410	皆増	0	0	0	—	0	0
その他特別利益	129,507	0.0	△ 590,666	△ 82.0	720,173	0.0	720,173	皆増	—	—
下水道事業費用(イ)	4,123,964,680	100.0	△ 55,577,638	△ 1.3	4,179,542,318	100.0	571,512,374	15.8	3,608,029,944	100.0
営業費用	3,834,677,682	93.0	△ 14,284,138	△ 0.4	3,848,961,820	92.1	522,757,442	15.7	3,326,204,378	92.2
汚水管渠費	69,743,233	1.7	9,293,008	15.4	60,450,225	1.4	2,406,842	4.1	58,043,383	1.6
雨水管渠費	11,671,896	0.3	1,393,690	13.6	10,278,206	0.2	127,250	1.3	10,150,956	0.3
汚水ポンプ場費	74,129,370	1.8	△ 2,327,711	△ 3.0	76,457,081	1.8	△ 8,357,165	△ 9.9	84,814,246	2.4
雨水ポンプ場費	33,686,993	0.8	5,543,413	19.7	28,143,580	0.7	△ 7,961,321	△ 22.1	36,104,901	1.0
調整池費	13,815,524	0.3	1,222,212	9.7	12,593,312	0.3	△ 904,292	△ 6.7	13,497,604	0.4
処理場費	176,350,588	4.3	△ 21,806,153	△ 11.0	198,156,741	4.7	198,156,741	皆増	—	—
流域下水道維持管理費	1,094,487,175	26.5	14,568,664	1.3	1,079,918,511	25.8	2,606,406	0.2	1,077,312,105	29.9
普及促進費	523,464	0.0	△ 4,092,744	△ 88.7	4,616,208	0.1	△ 1,532,914	△ 24.9	6,149,122	0.2
業務費	98,472,751	2.4	△ 4,784,231	△ 4.6	103,256,982	2.5	2,584,366	2.6	100,672,616	2.8
総係費	124,668,017	3.0	△ 24,799,145	△ 16.6	149,467,162	3.6	△ 2,151,976	△ 1.4	151,619,138	4.2
減価償却費	2,133,927,048	51.7	9,434,301	0.4	2,124,492,747	50.8	340,435,832	19.1	1,784,056,915	49.4
資産減耗費	3,201,623	0.1	2,070,558	183.1	1,131,065	0.0	△ 2,652,327	△ 70.1	3,783,392	0.1
営業外費用	289,050,788	7.0	△ 30,180,231	△ 9.5	319,231,019	7.6	37,600,233	13.4	281,630,786	7.8
支払利息及び企業債取扱諸費	249,529,354	6.1	△ 29,388,252	△ 10.5	278,917,606	6.7	36,075,513	14.9	242,842,093	6.7
雑支出	39,521,434	1.0	△ 791,979	△ 2.0	40,313,413	1.0	1,524,720	3.9	38,788,693	1.1
特別損失	236,210	0.0	△ 11,113,269	△ 97.9	11,349,479	0.3	11,154,699	5,726.8	194,780	0.0
過年度損益修正損	236,210	0.0	122,520	107.8	113,690	0.0	△ 81,090	△ 41.6	194,780	0.0
その他特別損失	0	0	△ 11,235,789	皆減	11,235,789	0.3	11,235,789	皆増	—	—
当年度純利益(ア)－(イ)	118,383,723	—	8,001,063	7.2	110,382,660	—	△ 23,969,825	△ 17.8	134,352,485	—

別表3

比較貸借対照表

(単位：円・%)

		借方								貸方															
区分 科目	令和4年度				令和3年度				令和2年度				区分 科目	令和4年度				令和3年度				令和2年度			
	金額	構成比	前年度差引額	増減率	金額	構成比	増減率	金額	構成比	金額	構成比	増減率		金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率	金額	構成比				
資産 の 部	固定資産	52,869,999,882	98.1	△ 933,086,544	△ 1.7	53,803,086,426	98.2	18.9	45,244,098,306	98.5	負債 の 部	固定負債	19,155,019,982	35.5	△ 384,553,319	△ 2.0	19,539,573,301	35.7	18.2	16,524,273,502	36.0				
	有形固定資産	48,231,950,653	89.5	△ 1,020,831,304	△ 2.1	49,252,781,957	89.9	20.7	40,789,824,995	88.8		企業債	19,155,019,982	35.5	△ 384,553,319	△ 2.0	19,539,573,301	35.7	18.2	16,524,273,502	36.0				
	土地	3,180,850,450	5.9	0	0	3,180,850,450	5.8	17.7	2,701,658,828	5.9		流動負債	3,116,305,747	5.8	31,318,551	1.0	3,084,987,196	5.6	30.3	2,366,847,796	5.2				
	建物	1,348,102,326	2.5	2,010,179	0.1	1,346,092,147	2.5	1,359.8	92,210,167	0.2		企業債	2,239,053,319	4.2	△ 26,023,311	△ 1.1	2,265,076,630	4.1	26.3	1,793,246,879	3.9				
	構築物	41,887,136,080	77.7	△ 979,351,751	△ 2.3	42,866,487,831	78.2	18.1	36,293,126,806	79.0		未払金	844,358,428	1.6	38,239,862	4.7	806,118,566	1.5	43.7	560,946,917	1.2				
	機械及び装置	1,680,979,342	3.1	△ 45,718,738	△ 2.6	1,726,698,080	3.2	6.1	1,627,989,656	3.5		前受金	13,200,000	0.0	13,200,000	皆増	0	0	—	0	0				
	車両、運搬具	1,742,641	0.0	△ 208,867	△ 10.7	1,951,508	0.0	95.2	1,000,000	0.0		引当金	10,494,000	0.0	△ 1,798,000	△ 14.6	12,292,000	0.0	10.2	11,154,000	0.0				
	建設仮勘定	133,139,814	0.2	2,437,873	1.9	130,701,941	0.2	77.0	73,839,538	0.2		その他 流動負債	9,200,000	0.0	7,700,000	513.3	1,500,000	0.0	0	1,500,000	0.0				
	無形固定資産	4,632,039,229	8.6	86,994,760	1.9	4,545,044,469	8.3	2.1	4,450,773,311	9.7		繰延収益	24,393,429,204	45.3	△ 662,661,697	△ 2.6	25,056,090,901	45.7	22.5	20,450,965,430	44.5				
	施設利用権	4,632,039,229	8.6	86,994,760	1.9	4,545,044,469	8.3	2.1	4,450,773,311	9.7		長期前受金	24,393,429,204	45.3	△ 662,661,697	△ 2.6	25,056,090,901	45.7	22.5	20,450,965,430	44.5				
	投資	6,010,000	0.0	750,000	14.3	5,260,000	0.0	50.3	3,500,000	0.0		負債合計	46,664,754,933	86.6	△ 1,015,896,465	△ 2.1	47,680,651,398	87.0	21.2	39,342,086,728	85.6				
	出資金	1,300,000	0.0	0	0	1,300,000	0.0	0	1,300,000	0.0		資本金	5,173,729,458	9.6	123,376,495	2.4	5,050,352,963	9.2	11.6	4,525,228,786	9.9				
	長期貸付金	4,710,000	0.0	750,000	18.9	3,960,000	0.0	80.0	2,200,000	0.0		自己資本金	5,173,729,458	9.6	123,376,495	2.4	5,050,352,963	9.2	11.6	4,525,228,786	9.9				
	流動資産	1,016,513,229	1.9	35,573,802	3.6	980,939,427	1.8	40.7	696,977,412	1.5		剰余金	2,048,028,720	3.8	△ 4,992,772	△ 0.2	2,053,021,492	3.7	△ 1.0	2,073,760,204	4.5				
	現金預金	637,990,003	1.2	△ 2,446,684	△ 0.4	640,436,687	1.2	65.2	387,731,085	0.8		資本剰余金	1,819,262,337	3.4	0	0	1,819,262,337	3.3	0	1,819,262,337	4.0				
未収金	350,803,226	0.7	10,300,486	3.0	340,502,740	0.6	10.1	309,246,327	0.7	受贈財産 評価額	1,771,556,397	3.3	0	0	1,771,556,397	3.2	0	1,771,556,397	3.9						
前払金	27,720,000	0.1	27,720,000	皆増	0	0	—	0	0	国庫補助金	36,000,000	0.1	0	0	36,000,000	0.1	0	36,000,000	0.1						
										負担金	11,705,940	0.0	0	0	11,705,940	0.0	0	11,705,940	0.0						
										利益剰余金	228,766,383	0.4	△ 4,992,772	△ 2.1	233,759,155	0.4	△ 8.1	254,497,867	0.6						
										当年度未処分 利益剰余金	228,766,383	0.4	△ 4,992,772	△ 2.1	233,759,155	0.4	△ 8.1	254,497,867	0.6						
										資本合計	7,221,758,178	13.4	118,383,723	1.7	7,103,374,455	13.0	7.6	6,598,988,990	14.4						
資産合計	53,886,513,111	100.0	△ 897,512,742	△ 1.6	54,784,025,853	100.0	19.2	45,941,075,718	100.0	負債資本合計	53,886,513,111	100.0	△ 897,512,742	△ 1.6	54,784,025,853	100.0	19.2	45,941,075,718	100.0						

報告セグメントごとの営業収益等（年度比較）

(単位：千円)

(単位：千円)

区分 項目・年度		公共下水道事業		農業集落排水事業		合計		区分 項目・年度		公共下水道事業		農業集落排水事業		合計	
		金額	前年度差引額	金額	前年度差引額	金額	前年度差引額			金額	前年度差引額	金額	前年度差引額	金額	前年度差引額
営業収益	令和4年度	1,683,180	△ 24,239	143,191	△ 1,474	1,826,370	△ 25,714	他会計負担金等	令和4年度	1,514,199	26,276	352,810	△ 28,795	1,867,009	△ 2,519
	令和3年度	1,707,419	△ 8,288	144,665	—	1,852,084	136,377		令和3年度	1,487,923	△ 56,744	381,605	—	1,869,528	324,861
	令和2年度	1,715,707	△ 12,482	—	—	1,715,707	△ 12,482		令和2年度	1,544,667	99,278	—	—	1,544,667	99,278
営業費用	令和4年度	3,316,691	8,320	517,987	△ 22,604	3,834,678	△ 14,284	減価償却費	令和4年度	1,825,017	9,434	308,910	0	2,133,927	9,434
	令和3年度	3,308,371	△ 17,833	540,591	—	3,848,962	522,757		令和3年度	1,815,582	31,526	308,910	—	2,124,493	340,436
	令和2年度	3,326,204	3,246	—	—	3,326,204	3,246		令和2年度	1,784,057	20,663	—	—	1,784,057	20,663
営業損益	令和4年度	△ 1,633,511	△ 32,559	△ 374,796	21,130	△ 2,008,307	△ 11,430	特別利益	令和4年度	182	△ 538	0	0	182	△ 538
	令和3年度	△ 1,600,952	9,546	△ 395,926	—	△ 1,996,878	△ 386,380		令和3年度	720	720	0	—	720	720
	令和2年度	△ 1,610,498	△ 15,728	—	—	△ 1,610,498	△ 15,728		令和2年度	0	△ 120	—	—	0	△ 120
経常損益	令和4年度	99,100	2,205	19,338	△ 4,779	118,438	△ 2,574	特別損失	令和4年度	236	123	0	△ 11,236	236	△ 11,113
	令和3年度	96,895	△ 37,652	24,117	—	121,012	△ 13,535		令和3年度	114	△ 81	11,236	—	11,349	11,155
	令和2年度	134,547	2,880	—	—	134,547	2,880		令和2年度	195	△ 20	—	—	195	△ 20
セグメント資産	令和4年度	45,106,722	△ 681,817	8,779,791	△ 215,695	53,886,513	△ 897,513	純損益	令和4年度	99,046	1,544	19,338	6,457	118,384	8,001
	令和3年度	45,788,539	△ 152,537	8,995,487	—	54,784,026	8,842,950		令和3年度	97,501	△ 36,851	12,881	—	110,383	△ 23,970
	令和2年度	45,941,076	△ 862,030	—	—	45,941,076	△ 862,030		令和2年度	134,352	2,780	—	—	134,352	2,780
セグメント負債	令和4年度	38,220,996	△ 780,863	8,443,759	△ 235,034	46,664,755	△ 1,015,896	有形固定資産 及 無形固定資産 の増加額 (減少額)	令和4年度	△ 697,001	△ 329,800	△ 236,835	56,495	△ 933,837	△ 273,305
	令和3年度	39,001,858	△ 340,228	8,678,793	—	47,680,651	8,338,565		令和3年度	△ 367,201	514,422	△ 293,330	—	△ 660,531	221,092
	令和2年度	39,342,087	△ 996,383	—	—	39,342,087	△ 996,383		令和2年度	△ 881,623	19,994	—	—	△ 881,623	19,994
企業債	令和4年度	17,848,583	△ 226,339	3,545,490	△ 184,238	21,394,073	△ 410,577	資金増加額 (減少額)	令和4年度	9,977	△ 204,169	△ 12,424	17,858	△ 2,447	△ 186,310
	令和3年度	18,074,922	△ 242,599	3,729,728	—	21,804,650	3,487,130		令和3年度	214,146	193,384	△ 30,282	—	183,864	163,102
	令和2年度	18,317,520	△ 305,482	—	—	18,317,520	△ 305,482		令和2年度	20,762	346,703	—	—	20,762	346,703
繰延収益	令和4年度	19,554,772	△ 596,979	4,838,657	△ 65,683	24,393,429	△ 662,662	資金期首残高	令和4年度	601,877	214,146	38,559	△ 30,282	640,437	183,864
	令和3年度	20,151,751	△ 299,215	4,904,340	—	25,056,091	4,605,125		令和3年度	387,731	20,762	68,842	—	456,573	89,603
	令和2年度	20,450,965	△ 709,703	—	—	20,450,965	△ 709,703		令和2年度	366,969	△ 325,941	—	—	366,969	△ 325,941
その他	令和4年度	817,641	42,455	59,612	14,887	877,252	57,342	資金期末残高	令和4年度	611,854	9,977	26,136	△ 12,424	637,990	△ 2,447
	令和3年度	775,186	201,585	44,724	—	819,911	246,310		令和3年度	601,877	214,146	38,559	—	640,437	252,706
	令和2年度	573,601	18,803	—	—	573,601	18,803		令和2年度	387,731	20,762	—	—	387,731	20,762

別表5

比較キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

	令和4年度	前年度差引額	令和3年度
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	118,383,723	8,001,063	110,382,660
減価償却費	2,133,927,048	9,434,301	2,124,492,747
資産減耗費	3,201,623	2,070,558	1,131,065
長期前受金戻入額	△ 1,254,554,092	△ 2,024,551	△ 1,252,529,541
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△ 473,463	170,244	△ 643,707
受取利息	0	1	△ 1
支払利息	249,529,354	△ 29,388,252	278,917,606
未収金の増減額 (△は増加)	△ 9,827,023	△ 12,848,648	3,021,625
未払金の増減額 (△は減少)	38,239,862	△ 134,449,751	172,689,613
前払金の増減額 (△は増加)	△ 27,720,000	△ 27,720,000	0
前受金の増減額 (△は減少)	13,200,000	13,200,000	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△ 1,798,000	△ 2,936,000	1,138,000
預り金の増減額 (△は減少)	7,700,000	7,700,000	0
小計	1,269,809,032	△ 168,791,035	1,438,600,067
受取利息	0	△ 1	1
支払利息	△ 249,529,354	29,388,252	△ 278,917,606
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,020,279,678	△ 139,402,784	1,159,682,462
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 863,396,176	△ 195,011,274	△ 668,384,902
無形固定資産の取得による支出	△ 271,195,951	1,015,534	△ 272,211,485
貸付による支出	△ 2,640,000	810,000	△ 3,450,000
貸付金の償還による収入	1,890,000	180,000	1,710,000
一般会計からの繰入金による収入	276,800,090	9,789,908	267,010,182
国庫補助金等による収入	204,344,979	7,969,582	196,375,397
負担金等による収入	42,047,326	2,325,304	39,722,022
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 612,149,732	△ 172,920,946	△ 439,228,786
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良費等の財源に充てるための 企業債による収入	1,853,800,000	186,700,000	1,667,100,000
建設改良費等の財源に充てるための 企業債の償還による支出	△ 2,264,376,630	△ 60,686,758	△ 2,203,689,872
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 410,576,630	126,013,242	△ 536,589,872
資金増加額 (又は減少額)	△ 2,446,684	△ 186,310,488	183,863,804
資金期首残高	640,436,687	183,863,804	456,572,883
資金期末残高	637,990,003	△ 2,446,684	640,436,687